

【背景】

男女平等・共同参画社会は、多様な生き方を尊重し、全ての人がある場所で活躍できる社会であり、男性にとっても暮らしやすい社会であることから、男女平等・共同参画を男性の視点で捉えることが不可欠です。また、長時間労働の抑制等働き方の見直し、直面する介護の問題などの課題に対応するためにも、男女平等・共同参画の理解に向けた男性に対する積極的な働きかけが必要です。

また、次世代を担う子どもたちが将来を見通した自己形成を図りながら健やかに育ち、そして幸せに暮らせる社会を目指す観点から、子どもの頃から男女平等・共同参画の理解を促進することが重要です。近年、ひとり親家庭の子どもや性犯罪の被害を受けている子どもなど支援が必要な子どもの問題も顕在化しており、安全で安心に暮らせる環境づくりのため、社会全体で子どもたちを支えることが必要です。

【重点事業】

- ◆「たかおかワーク・ライフ・バランス懇談会」の設置による指針の作成等
「たかおかワーク・ライフ・バランス懇談会」を設置し、推進のための指針の作成や推進事業所認定制度などの取組を行い、仕事と生活の調和の実現についての理解と関係者相互の合意形成の促進を図ります。

◆^{いき}粋メンプロジェクト等の推進 ※

子育て世代からプラチナ世代（中年以上）までの幅広い世代の男性を対象に、家事、育児、介護及び仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等をテーマとして、地域や男女平等推進センター等で意識啓発のための講座やイベント等を開催します。

◆父と子等を対象とした講座等を通じての男女平等・共同参画の理解促進

男女平等推進センター等で、父と子（祖父と孫）を対象に、意識啓発のためのイベント・講座等を開催し、子どもの頃から男女平等・共同参画の理解を促進するとともに、家庭はもとより、地域全体で子育てしていく気運の醸成に努めます。

※ 粋メン(いきめん)とは

家事や育児はもとより、介護や地域活動等にも積極的な高岡の男性のことです。2010(平成 22)年、高岡市男女平等推進センターネットワーク会議で、「男女平等・共同参画に積極的な男性は、粋(いき)な人」との考えから命名されました。なお、厚生労働省では、家事や育児に積極的な男性を「イクメン」とし、推奨しています。



誰だって自分の気持ちを話したい女性の方へ

話スペース
ぽこ*あ*ぽこ

安心して話しができる場です。
どなたでも参加できます。(申込みは要りません)

女どうし ゆったり 安心できる場所です。
◆誰かに聞いてほしいことがある ◆自分で乗り越えたことがある ◆最近元気がない ◆少しだけ悩んでいる

日時 毎月第4木曜日(原則) 19:00~20:30
(12/13※、1/24、2/28、3/28)
場所 男女平等推進センター会議室

男女平等推進センター
相談室出前講座 ご活用ください

男女平等推進センター相談室のことを知っていただくため、センター職員が、皆様の団体・グループ等に出向いてお話しします。

【対象】市内で活動する地域団体・グループ等

【実施方法】

- ◆開催時間や内容などは、皆様のご要望に応じます。
- ◆皆様方のグループの会合や行事、研修会等の時間を利用して、15分程度でもOKです。

【内容】

- ◆センター相談室のこと ◆相談の概要、DVのこと
- ◆対等な関係性等

【期間】平成 25 年 3 月 末まで

【経費】無料

※但し会場は、団体・グループでお手配をお願いします。

高岡市男女平等推進センターの案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画をすすめるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の貸出しや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

※休館日 毎月第4木曜日・12月29日～翌年の1月3日

＜相談室＞ 専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題等いろいろな相談を受けています。

相談時間
〔月・火・水・金・土〕 9:30～16:30
〔木〕 14:00～20:00

相談室専用電話
(0766)20-1811

〒933-0023 富山県高岡市末広町 1-7(ウイング・ウイング高岡 6 階)

TEL(0766)20-1810 FAX(0766)20-1815

ホームページ <http://www.city.takaoka.toyama.jp/kikaku/0208/gec/>



高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7

(ウイング・ウイング高岡6階)

tel.(0766)20-1810 fax.(0766)20-1815

E-mail. gec@city.takaoka.lg.jp

HP. <http://www.city.takaoka.toyama.jp/kikaku/0208/gec>

2012
12月1日 発行

第42号

ありて
mate
めいと

「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいいいます。

センターだより



富山大学が掲げる男女共同参画推進事業とWLB(ワーク・ライフ・バランス)

高岡市男女平等推進市民委員会会長
富山大学男女共同参画推進室室長

ながやま くに子

このたび、高岡市男女平等推進市民委員会会長の任を拝命しました富山大学の永山くに子と申します。過日、行われたEXPOにおける積極的な市民活動の実際から、高岡市における男女平等推進に関する市民の意識の高さに驚いているところです。

今回は、平成23年度から創設された富山大学の男女共同参画推進事業をこの紙面をお借りして紹介したいと思います。

本学は平成20-22年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択され『富山循環型女性研究者育成システムの構築』を旗頭に、当初、理工系の女性研究者の支援や裾野拡大を目指しプロジェクトが編成され事業を展開しました。平成23年にそのプロジェクト事業の評価が実施され、その結果、Aランクと高い評価を得ることができました。文科省の事業が終了と同時に、それまでの事業を踏襲する形で、富山大学独自の3つの柱を要する事業（意識改革・女性研究者の裾野拡大・職場環境整備改善）を提示し、現在に至っています。それまでは主に女性研究者を中心とした事業展開でしたが、新規の事業計画に当たり、富山大学が独自に策定した「富山大学共同参画宣言文」を基軸とした方針に準じ立案してきました。具体的な方向性としては学生や教職員が性別にかかわらず、お互いの人権を尊重しつつ能力を十分に発揮でき、

教育・研究・社会貢献が可能な職場環境を創生するために必要な組織体制づくりと教職員のニーズに沿った事業の展開です。組織体制の強化において、学長は中長期目標に女性管理職（教職員）の登用などを盛り込むことや、学長裁量の女性研究者支援、離職防止のためにすでに平成22年度から産休代替制度が本格的に始動していることから、すこしずつ前向きに進捗してきました。しかし、現状では、女性研究者（教員）の比率は全体の17%であり、まして、学部間での格差は縮まっていないことなどから、まだまだ、全教職員への意識改革の推進や職場環境改善策の見直しが必要なことと考えています。また、主な支援事業（サポーター制度、学童保育、ベビーシッター補助事業、人材バンクなど）は比較的順調に利用・展開されています。これらの事業の進捗状況や情報提供は、平成24年度からニュースレターを年4回発行して啓蒙活動の一環として活用してゆきたいと考えています。担当者として、この男女共同参画推進事業によって富山大学の教職員一人ひとりが各自のWLB(Work Life Balance)を考える機会となり、輝いて生きることに繋がることを期待している次第です。

最後になりましたが、高岡市が男女平等・共同参画社会をめざして、ますます発展推進されますようところより祈願しております。